

今回は、「褒める」ことについて、少しお話したいと思います。
褒めることは、子どもの成長をサポートするうえで重要です。正しい褒め方をすることで、子どもの体や心に良い影響があると言われています。
ただし、褒め方を間違えると悪い影響になるため注意が必要です。まずは、褒めることで得られるよい効果について見ていきましょう。

★ 子どもの自己肯定感が高まる

自己肯定感が高まれば、自分のことを大切に、友達やおうちの方に対しても思いやりをもって優しく接することができます。

★ 子どものチャレンジ精神が育つ

上手にできたことを褒めれば、子どもは成功体験として記憶していくため、自信をもって他のことにも挑戦できます。

★ 子どもの自主性が育つ

子どもは、また褒められたいという気持ちになるため、自主的にお手伝いをしたり、宿題をしたりすることが期待できます。

良いことばかりだと思いませんか？子どもに良いことなら、やってあげたいですよね。だからといってむやみやたらに褒めることは良いことではありません。褒め方について、少しまとめてみました。

- 何かに挑戦してできたときは、子どもと一緒に喜ぶ。
- 叱る、褒めるのメリハリをつける。
- 結果ではなく、努力や過程を褒める。
- 他の子と比べない。
- 「ありがとう」「助かった」も褒め言葉。



何より、褒められたときの子どもの笑顔は、キラキラしていてとても良い顔をしています。そんな笑顔を見るとうれしくなりますね。上記のことを気にとめながら、意識的に褒めてみてはいかがでしょうか？

お知らせ

11月2日（火）にスクールカウンセラー（小野先生）がいらっしやいます。相談を希望される方は、担任または教育相談係にご連絡ください。お子さんの様子で、気になることや話してみたいことなど、お気軽にご相談ください。

きりとり

スクールカウンセラー相談 希望書

10月25日（月）締め切り

11月2日（火）の相談を希望します。

（*必ず第3希望まで希望順位をご記入いただきますようお願いいたします。）

9:00	10:00	11:00

_____年 _____組 児童名

保護者氏名 _____

教育相談係
担当 高田・河原井